

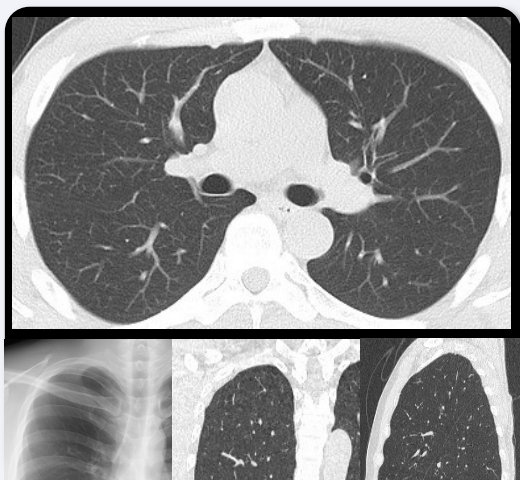


胸部CT検査について

胸部CT検査とは？

胸部CT検査は、X線を使って身体の断面像を撮影し、肺や心臓などの胸部の臓器を詳しく調べる検査です。

胸部CT画像



レントゲン検査と異なり、体を複数の断面で撮影するため、立体的に観察、診断できます。このため、レントゲン検査では影になってしまう心臓の裏にあるような病気も発見できます。

CT装置



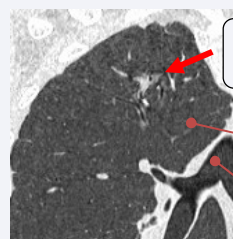
当院のCT装置は80列マルチスライスにより短時間で撮影可能です。また、0.5mmの薄い断層厚で、低被曝を実現しています。さらに、780mmの大開口径により、検査中の圧迫感が少なくなっています。

胸部CT検査で分かること

肺



肺炎、結核、COPD や肺癌などの病気が分かります。レントゲンでは見つけるのが難しい右の写真のような15~20mmの小さい肺がんも見つける事ができます。



小さい肺がん

肺

気管支

心臓・血管



冠動脈疾患や心筋症、動脈硬化の他、大動脈瘤や大動脈解離、肺動脈などの病気が分かります。右の写真は、大動脈の壁の一部が白くなり、石灰化がある様子がわかります。



大動脈の石灰化

気管支

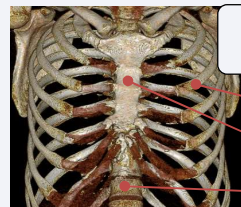
大動脈

脊椎

胸郭・甲状腺



肋骨の骨折や胸膜の異常、甲状腺の病気が分かります。画像の処理により、右の写真のように、より立体的に把握する事ができます。



立体的な肋骨の写真

肋骨

胸骨

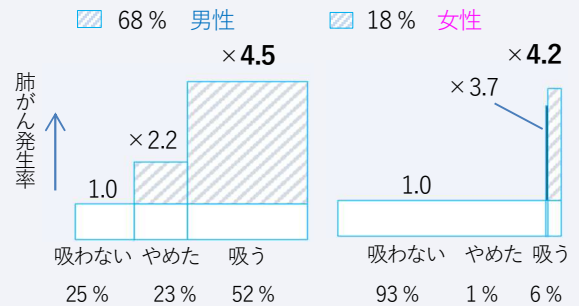
脊椎

次のような肺がんのリスクがある方に、特に胸部 CT 検査をお勧めします

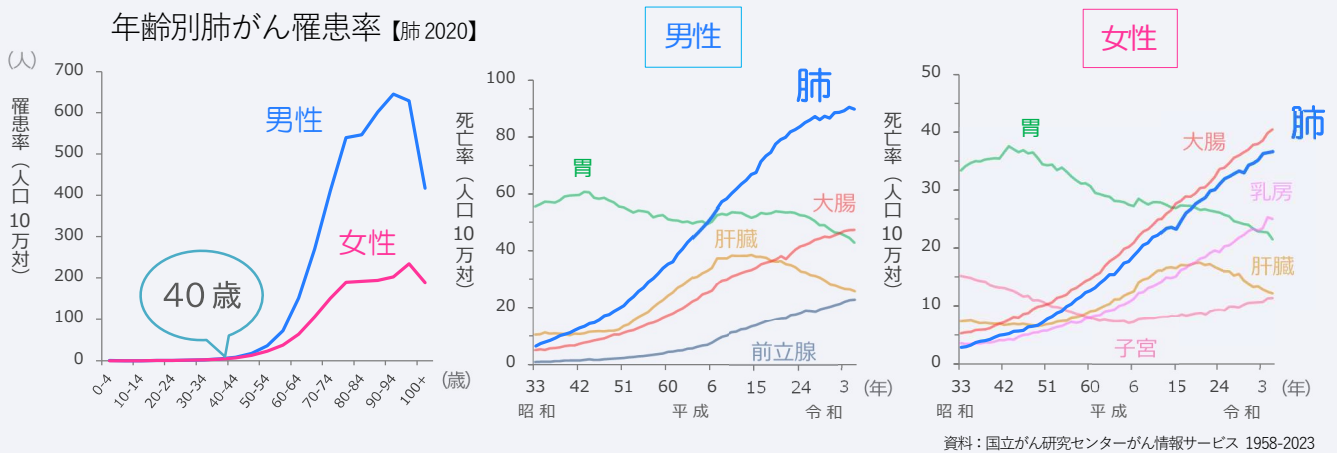
- ☑ 喫煙歴がある方
- ☑ 周囲に喫煙者が多い方
- ☑ 血縁者に肺がんを発症した方がいる方
- ☑ 咳や痰の症状がある方
- ☑ 息切れを感じる方
- ☑ 胸痛を感じる方

タバコと肺がんの関係について

タバコを吸う人での肺がん発生率は、吸わない人に比べて、男性では **4.5 倍**、女性では **4.2 倍** に高かったと報告されています。また男性では 68%、女性では 18% の人がタバコを吸わなければ肺がんを発症せずに済むことが分かっています。**禁煙は肺がん予防の第一歩です。**



日本人の肺がんの罹患率や死亡率について

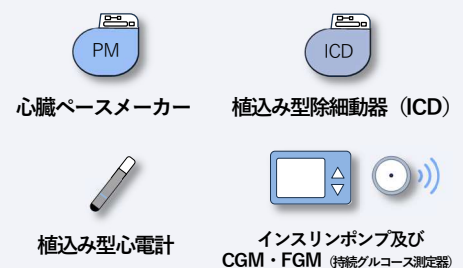


肺がんは男女ともに 40 歳代から増加し始め、年齢が上がるほど罹患率が高くなり、男性は女性の約 2 倍多く発症します。また、肺がんは死亡率も高く、男性では癌による死亡の第一、女性でも第二位となっています。がんが進行すると治療が難しくなることがあるため、**早期に発見することが重要です。**

胸部 CT 検査を受けられない方

心臓ペースメーカー等の体内埋め込み型機器がある方は、当院では胸部 CT 検査は受けられません。

また、**持続グルコース測定器機器**については、検査の前に、ご自身で機器を取り外して頂く必要があります。万が一、機器を装着したまま検査を受けてしまい、機器に不具合が生じても、当院では対応はできません。ご自身での管理をお願いします。



まとめ

胸部 CT 検査では肺、心臓、骨などの臓器を詳しく調べることができます。喫煙歴のある方や、咳や痰の症状がある方、など、肺がんが心配な方に胸部 CT 検査をお勧めします。

当院のオプション CT 検査は当日の申し込みで受診できます。お気軽に受付までお申し付けください。

健康診断のご予約やご相談は、Tel.03-3668-6806 へご連絡ください。



今後もニュースレターを発行し、皆様の健康管理に少しでも参考になればと思います。ぜひ皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。今後もこのニュースレターやホームページ等を通じ、役立つ情報を発信してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

公益財団法人早期胃癌検診協会 事務局

Tel.03-3668-6803 / E-mail: mail@soiken.or.jp